

☆20年前お付き合いしたカトマンズRCを表敬訪問。

☆カトマンズ近郊の支援候補の小学校（3校）視察。

[エコミュージアム関係者の願い]

●建物、特に屋根の雨漏りと壁のひび割れの補修。
既存の屋根の上にもう一つ覆いとなる屋根を設けたい。

●エコミュージアムを中心とした活動を盛んにするための収入源確保。

●川の水を利用した灌漑システムを作り、その水を使つてりんご園を作りたい。（ムスタンのリンゴはネパールでは有名。以前は輸送路がなかったが、現在は陸路で輸送可能。）

●来場者数をふやすために、幹線道路脇に看板を設置し、建物までの道を整備したい。（太ったインド人は、階段が嫌い。）

[ネパールの小学校に対する支援]

ネパール小学校の問題点

1. 政府からの経費支出が潤沢でない。
2. 親に負担が発生（教育にはお金かかる）
3. 校区が存在しないために生徒の質に偏りが発生。
識字率向上が困難。

[ネパール視察旅行で感じたこと]

- 自然と共に暮らす人々。
- アナログの世界とデジタルの世界が共存。
- エネルギーはすべて輸入。○物価は高いの安いの ???
- 貧富の差は大きい、カーストが残っている。
- 少々のんびり、でも皆幸せそう。
- 勉強熱心、朝6時頃から学校へ。
- 支援活動には現地の人との対話が欠かせない。
- こちらも時間に余裕を持つことが必要。

お世話になった方々にありがとう。

嶋村眞美さん。十数年に渡り、個人レベルでネパールへの支援活動を行つてゐる。たくさんの助言を頂いた。

Bipin Thapaさん。旅行会社に勤務、ガイドをしながら里親活動。今回は、旅行関係以外に、Jomson関係や、小学校のことを手配してくれました。今後もJomsonや学校との橋渡しを依頼しています。

Suresh das Shresthaさん。元米山奨学生（約4年間、日本に滞在）トリップバン大学准教授、地質学、水の専門家として世界で活躍、カトマンズRCを休会中。今回は小学校の手配など他の、カトマンズのRCとの橋渡しをして頂き、今後もお手伝いをお願いしています。

4月の例会案内

2日 第1例会行事 健康管理について 笠原 章会員	9日 雑誌月間に因んで 広報雑誌委員会	16日 地区大会報告 宮本 俊・白崎裕二 矢尾主成会員	23日 移動例会 仁愛大学	30日 休 会
------------------------------------	---------------------------	--------------------------------------	---------------------	------------



特別委員



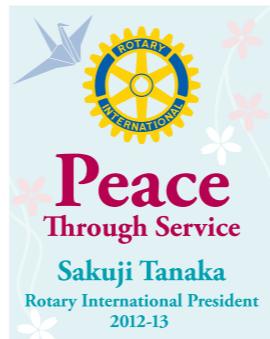
住民の方と



晚餐会



ニコニコ箱 …… 48,000円（出席者全員）



TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

創立／1954年（昭和29年）6月30日

事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

2012-2013 RI テーマ
奉仕を通じて平和を

例会日／毎週火曜日 例会場／武生商工会館

会長／佐々木忠彦 幹事／河嶋 一 会報委員長／丹羽新吾

2013.4.2 No. 2275

2012-2013 第2650地区テーマ
隔たりをなくそう

みたいですが、上下道の整備が追い付かず、慢性的なごみ問題も放置され、電力も十分でなく、停電は当たり前です。道路の街灯は一灯もありませんでした。首都では夜も人通りは多いのですが、暗いものですから人がうごめいているという感じでした。水力発電に頼るこちらでは、年間を通じて計画停電が実施されています。乾季の後半は毎日1日の半分も電気がないという状況です。給水は2日に1回2～3時間です。自宅庭にタンクを設置して利用している家庭も多いそうです。

産業は観光と農業ですので、大変貧しい国です。身分差別のカースト制度も根強く残っているそうです。青年の給料が13,000円位ですが、ガソリンは1ℓ120円ぐらいでした。車内が暑くても一度もエアコンは入れてもらえませんでした。未舗装の道路を走るものですから埃が入ってきて大変でした。全ての品物が輸入されているという現状です。

カトマンズ盆地全体が世界遺産に指定されています。寺院や旧王宮や沢山のバザールなど見所はいっぱいあります。日本の昭和30年頃の景色と思ってみたら懐かしい感じがします。発展途上国を皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。感ずるところは色々あると思います。

今日の一言：「人の一生は、重き荷を負うて遠き道をゆくがごとし。急ぐべからず。不自由を常と思えば、不足なし。」徳川家康

プログラム

ネパール・ジョムソン調査隊帰国報告会

佐々木会長 田中茂会員 田中大成会員 宇野会員

[ネパール視察旅行の目的]

☆ジョムソンのエコミュージアムの現状確認。

☆ヒマラヤ保全協会、ACAPほかの方と面談。

☆プレート取り付けの可否。建物、展示物、備品等やロータリーの森の現状は？

会長挨拶 佐々木会長



3月20日は「春分」です。この日をはさんで前後7日間が彼岸です。花冷えや寒の戻りがあるので暖かいといつても油断は禁物です。昼夜の長さがほぼ同じ頃であり、この後は昼の時間が長くなっています。

本日のプログラムはネパール訪問の報告会です。2月10日から18日にかけてのホテル6泊機中2泊で会員4人で行つきました。ネパールの知識は皆さんどのくらいお持ちでしょうか。人口2,600万人、国土面積15万km²といいますから北海道の1.8倍でしょうか。言語はネパール語を話しますが、小学校入学直後位から子供達は英語を話す努力を行なっています。英語の副読本がほしいと言っていました。標高は海拔数十mから8,000m以上までの高低差があります。東はブータンから西はパキスタンまでの2,800kmにわたるヒマラヤ山脈には、8,000mを超える巨峰が14座、そのうち8座はネパールにあります。ここにはエベレスト（チョモランマ）8,848mの頂上も含まれています。

首都のカトマンズは海拔1,300m、ポカラは800m、ジョムソンは2,800mです。亜熱帯から寒帯までの気候があります。今や交通渋滞は当たり前。バスと自転車と道路を強引に渡る人であふれるカトマンズ。見た目には新しいビルの建築で都市化が進んでいる